

広報

第68号



日大山形

平成30年4月26日発行

とどけ声援

36年ぶりの春



巻き起こせ！日大旋風

平成30年度 入学式

希望を胸に、今つぼみが花開く

春の暖かさに包まれ、入学式を心待ちにした新入生の期待と希望をあらわすかのよう
に、桜のつぼみも大きく膨らみを見せ始めた平成三十年四月七日、平成三十年度日本大
学山形高等学校入学式が厳粛かつ盛大に挙行された。あいにくの雨模様になるかと思わ
れたが、三九〇名の希望に満ちた輝かしい笑顔が雨雲をどかし、晴れ間さえ見える一日
となった。これから始まる輝かしい三年間に向けて踏み出した第一歩を祝福するととも
に、大いなる活躍に期待したい。

〈学校長式辞〉

歳王の麓に例年よりも早く春の息吹が高まり、桜も開花した本日この良き日に、平成三十年度日本大学山形高等学校入学式を挙行するにあたり、ご来賓として桜華同窓会会長藤田宏次殿、保護者会会長山口清彦殿をはじめ、ご来賓各位、ならびに役員各位、そして多くの保護者の皆様のご列席を賜り、また、本学より日本大学学長大塚吉兵衛先生の代理として、日本大学歯学部部長本田和也先生をお迎えし、このように厳粛かつ盛大な式典を執り行うことが出来たことは、私どもにとりましてこの上ない喜びでございます。高いところから失礼ではございますが、教職員を代表して、心より御礼申し上げます。

新入生三九〇名の皆さん、入学おめでとう。本校生徒として心から歓迎いたします。皆さんは、九か年の義務



江口 善紀 校長

教育の全課程を終えられま
した。そして、今日から高
等学校の課程を学ぶことにな
ります。

高校生活はたった三年間
ですが、これからの人生を
左右する大事な時期です。
自ら学び、自ら考え、自ら
道をひらく、を実践し、よ
り豊かな経験を積んで下さ
い。

新入生の皆さんの今の気
持ちは、入学の喜びと、今
日からはじまる高校生活へ
の期待とで胸がいっぱい
であるかと思いますが、一方
で、これからの本校での学
校生活に対する不安な気持
ちもいっているのではな
いかと、推察いたします。
どうか、一日も早く本校
の生活になじみ、日本大学
山形高等学校の生徒として
立派に成長してくれること
を願っております。

日本大学は、時の司法大
臣であった山田顕義伯爵に
よって、明治二十二年、日
本法律学校として創立され
我が国最大の総合大学へと
発展し、間もなく、一三〇
周年を迎え、力強い歩みを
続けています。

本校は、昭和三十三年に
山形学園山形第一高等学校
として創設され、昭和三十
七年に日本大学の付属高校

となり、日本大学の教育理
念である『自主創造』に基
づき、高等学校創設六十
年を迎えました。その間、三
万七千数百余名を越える優
秀な卒業生を輩出し、県内は
もとより我が国の各方面
各界に活躍される先輩の
方々が多数おられることは
皆さんもご承知のことだと
思います。皆さんの中には
親子二代、あるいは三代に
わたって本校で学ばれる方
もいらっしゃるのではない
でしょうか。

そこで、高校生活のスタ
ートに当たり、新入生の
皆さんに三つをお願いをし
たいと思います。まず一つ
目は、「向学心を持ち続けて
欲しい」ということです。
つねに自分自身としっかり
向き合い、今の自分はこれ
でいいのか、今の自分は何
が足りないのか、これから
何をすればいいのかなど、
絶えず自分に問いかけてく
ださい。近い将来、皆独り
立ちしていかなければなら
ません。高校では、生きる
ために必要最低限の知識・
技術やコミュニケーション
能力など、「生きる力」の基
礎・基本を身につけなけれ
ばなりません。これまでの
与えられた受け身の学習環
境から脱皮して、自らの意

志でどんな欲に自己を高める
「向学」の気概を持って、目
標達成に取り組んで欲しい
と願っています。

二つ目は、「多くの友達を
作って欲しい」ということ
です。高校生活では、中学
時代とは違った幅広い様々
な体験をします。人間の生
活は、決して一人の力では
成り立ちません。他人の良
さを認めたり、自分を認め
てもらったりする豊かな心
が大切なのです。挫けそう
な時に励ましてくれる友達
間違ってしまった時に諫め
てくれる友達、喜びや苦し
みを一緒に分かち合える友
達など、多くの友達がいる
ことはすばらしいことです。
一生支え合っていく友人
は何にも代え難い貴重な財
産となります。多くの友達
を作って、目標を達成する
ための大きなエネルギーに
して欲しいと願っています。

三つ目は、「健康管理に努
力して欲しい」ということ
です。これから先の、めま
ぐるしく変化していく複雑
な社会を生き抜くためには
心身ともに健康であること
が大切となります。家庭や
学校での生活のリズムを
しっかりと作ることがもちろ
ん、部活動やボランティア
活動に積極的に参加して、
自己の可能性をさらに大き
く広げてください。また、
自分を敬愛し、礼儀と節度



日本大学学長代理 本田 和也 歯学部長

次に、保護者の皆様に申
上げます。お子様の御入
学、誠におめでとうござい
ます。これまでお子様を育
つてこられました皆様の御
尽力に敬意を表すとともに
私共教職員に課せられた責
任の重さに身の引き締まる
思いでございます。皆様か
らお子様に寄せる思いを真摯
に受け止め、私共教職員一
同は、お子様の大きな成



新入生代表 宣誓 阿部 真珠 (東部中)

を重んじながら、規範意識
やコミュニケーション能力
も身につけて欲しいと思
います。そのために、これか
ら始まる高校生活の中で強
い身体と思いやりの心を積
極的に育んで欲しいと願
っています。

このように、本校では「知
育・徳育・体育」の、バラ
ンスに配慮しつつ、一人一
人の個性の伸長を図りなが
ら、人間性豊かな生徒を育
てる決意であります。しか
しながら、高校時代は、精
神的にも肉体的にも著しい
成長を遂げる反面、心の中
は様々な葛藤で大きく揺れ
動くなど、不安定で難しい
時期でもあります。

ご家庭や地域の方々との
連携を一層深めるとともに
様々な困難を乗り越えなが
ら、みんなで支え合う学校
愛され信頼される学校を目
指し、教職員一丸となって
教育活動に邁進いたします。

長を目指して教育活動に取
り組んでまいります。どう
か、本校の教育活動に御理解
御協力を賜りますよう、よろ
しくお願い申し上げます。

新入生の皆さん、あらた
めてご入学おめでとうござ
いませう。勉学に、学級活動に、
クラブ活動に、生徒会活動に、
有意義な学校生活を過し、
大いに躍進されることを
願っております。そして、
本校での三年間が輝いたも
のになることを心から期待
して、式辞といたします。

平成三十年度 第一学年担当教員

主任	中村 寿一(書道)
副主任	小嶋 佑治(理科)
一組	小嶋 佑治(理科)
二組	松浦 祐平(保健)
三組	佐藤 正治(国語)
四組	河田 勤(英語)
五組	小山 恭子(英語)
六組	野川 淳(国語)
七組	森谷 翔(国語)
八組	板垣 慶二(数学)
九組	伊藤 裕二(国語)
十組	和田 京(数学)
十一組	永野 勝久(数学)
副担任	高木 直哉(数学)
	国府 雅晴(数学)
	吉田 貴行(理科)
	板垣 和良(英語)
	青木 大和(保健)
◇学年付	
平野 礼子(国語)	
大場 恵一(国語)	
藤田 和子(国語)	
有地 良太(国語)	
丸子 文実(数学)	
東條 志子(保健)	
木村 恵李(英語)	
田中 菜月(英語)	
チャドホーン(英語)	

平成29年度卒業式

平成三十年三月一日、本校第一体育館にて第五十八回卒業式が挙行された。
 三九七名の卒業生が日大山形高校における伝統と歴史に新たな一ページを刻み、高校生活の三年間での仲間との出会いと経験を糧にそれぞれが新たな一歩を踏み出した。

受賞者

- 一、学長賞(学業部門)
安達 友威(山辺中)
- 二、学長賞(体育部門)
荒井菜々美(天童三中)
- 三、学長賞(学術・文化部門)
ダンスドリル部
- 四、優秀賞(学術・文化部門)
放送部
- 五、優等賞
柴崎 翔太(山大附中)
安達 友威(山辺中)
須藤丞太郎(楯岡中)
星川正太郎(山形六中)
渡部 鴻人(山形二中)
- 五、皆勤賞 四十三名
- 六、精勤賞 一二二名
- 七、学校長賞 四十三名
- 八、大久保・矢野賞
(1)功労賞
生徒会会長 境 翔太(赤湯中)
総務員 橘井 結衣(東根三中)
鈴木つぐみ(山形一中)
丹波 蒼紫(山形七中)
田中 英鉄(金井中)
菊地 優杏(山形六中)
進藤 意織(陵東中)
木村 栄香(天童一中)
代議員議長 石黒 彩詠(日進中)
代議員副議長 星 美瑛(高島一中)
菊地 祐登(蔵王一中)
学級委員長 氏家 淨明(上山北中)
HR運営委員長 佐藤 未歩(山形六中)
週番委員長 鈴木 陸飛(山形六中)
保体委員長 白田 遥己(山形四中)
環境整備委員長 長岡 拓哉(山形四中)
- (2)努力賞
雲野チエルシー(信濃中)
内川 湧太(坂下中)
酒井 隆太(裏磐梯中)
藤木 大空(山形六中)
熊谷壮一郎(山形五中)
中村 紗希(上山北中)
相田 悠有(山形十中)
神林 亮太(山形六中)
星 美瑛(高島一中)
会田 起康(天童一中)
高橋 蓮(山形五中)
坪 奈那(山形二中)
- (3)体育賞
野球部 舟生 大地(真室川中)

図書委員長

清野 英子(天童二中)

女子部専門委員長

岡寄 理佐(山大附中)

応援委員長

松尾 亜門(山形五中)

運動部部長

渡邊 文乃(東根一中)

文化部部長

吉野 凌太(上山南中)

応援団長

柳川 愛理(日新中)

柔道部

馳尾大二朗(山辺中)

バドミントン部

山口 直輝(山形十中)

陸上競技部

武田 紘明(山形三中)

男子バスケットボール部

額田 真衣(陵南中)

男子バレーボール部

佐藤 佑(天童四中)

ボクシング部

遠藤 美羽(蔵王一中)

剣道部

片桐 未来(金井中)

サッカー部

菅原 侑哉(長井南中)

男子テニス部

田中 拓真(山形三中)

卓球部

鏡 斗馬(上山南中)

男子ハンドボール部

加藤 悠(采沢四中)

ラグビーフットボール部

斯波 良太(山形一中)

女子バレーボール部

塩野 梓(山形六中)

女子テニス部

神野 穂香(金井中)

女子ハンドボール部

渡邊 文乃(東根一中)

ゴルフ部

高橋 利基(横手南中)

女子バスケットボール部

栗田 美憂(山形四中)

水泳部

佐藤 歩(天童二中)

スキー部

野川 大地(玉野中)

ソフトテニス部

中村 彰吾(山形十中)

相澤奈緒子(山形六中)

男子テニス部

田中 拓真(山形三中)

卓球部

鏡 斗馬(上山南中)

男子ハンドボール部

加藤 悠(采沢四中)

ラグビーフットボール部

斯波 良太(山形一中)

女子バレーボール部

塩野 梓(山形六中)

女子テニス部

神野 穂香(金井中)

女子ハンドボール部

渡邊 文乃(東根一中)

ゴルフ部

高橋 利基(横手南中)

女子バスケットボール部

栗田 美憂(山形四中)

水泳部

佐藤 歩(天童二中)

スキー部

野川 大地(玉野中)

生物部

吉野 凌太(上山南中)

英会話部

佐田伊満利(山形十中)

美術部

岩崎 朱莉(山寺中)

書道部

菊地 優杏(山形六中)

音楽部

星 美瑛(高島一中)

吹奏楽部

門田 美羽(山形六中)

演劇部

工藤 混平(上山北中)

写真部

田所 瑞基(山形五中)

放送部

舟腰光太郎(山大附中)

漫画部

土田 遥子(田彦中)

ダンスドリル部

石山 万桜(山形七中)

JRC部

丹波 蒼紫(山形七中)

九、栄光のメダル

(1)金メダル

荒井菜々美(天童三中)

ボクシング部

齋藤 彩奈(長井北中)

スキー部

越後英美華(天蔵中)

雲野チエルシー(信濃中)

(2)銀メダル

柔道部

ボクシング部

水泳部

スキー部

男子テニス部

女子テニス部

野球部

柔道部

男子バスケットボール部

ボクシング部

サッカー部

男子バレーボール部

水泳部

スキー部

ラグビーフットボール部

女子テニス部

女子バスケットボール部

女子テニス部

文化賞メダル

ダンスドリル部

吹奏楽部

放送部

二名

八名

九名

二名

八名

五名

四名

三名

三名

八名

四名

三名

三名

三名

八名

部活動報告

運動部

国民体育大会

- 水泳部
少年男子A
二〇〇M背泳ぎ
出場 荘司 和樹(天童四中)
二〇〇M平泳ぎ
出場 佐藤 歩(天童二中)
少年女子A
五〇M自由形
一〇〇M自由形
出場 荘司菜々子(上山北中)
男子テニス部
出場 荘司 立己(金井中)
女子テニス部
出場 寒河江ひより(米沢七中)
ボクシング部
ピン級
5位 箭柏 鳳成(蔵王一中)
ライトウェルター級
出場 山口 純平(山形六中)
スキー部
少年男子
出場 高田隼之介(信濃中)
大宮康太郎(蔵王一中)
佐藤 柚貴(最上中)
伊東 周悟(蔵王二中)
少年女子
4位 越後英美華(大蔵中)
出場 鈴木 葵(天童四中)
宮澤 莉央(浅間中)
柔道部
少年男子団体
出場 丹野 徹弥(山形九中)

- トボール選手権大会 ベスト16
女子ハンドボール部
第四十一回全国選抜大会
出場 スキー部
全国高等学校総合体育大会
男子大回転
出場 佐藤 柚貴(最上中)
小池 泰介(みなみ野中)
大宮康太郎(蔵王一中)
男子回転
出場 伊東 周悟(蔵王二中)
佐藤 柚貴(最上中)
高田隼之介(信濃中)
女子大回転
3位 越後英美華(大蔵中)
6位 宮澤 莉央(浅間中)
7位 雲野チエリ(信濃中)
女子回転
5位 越後英美華(大蔵中)
9位 宮澤 莉央(浅間中)
出場 雲野チエリ(信濃中)
全国高等学校選抜スキー大会
女子回転
5位 宮澤 莉央(浅間中)
男子大回転
10位 高田隼之介(信濃中)
水泳部
全国JOCジュニアオリンピックカップ春季大会
出場 松浦 心叶(東根三中)
四〇〇Mメドレーリレー
出場 高梨由佳理(天童二中)
日本選手権競泳FINAワールドカップ東京大会
女子
五〇M自由形

- 出場 荘司菜々子(上山北中)
男子テニス部
全国選抜高校テニス大会
個人シングルス 団体出場
出場 網代 凱(米沢四中)
女子テニス部
全国私立高校テニス大会
団体出場
ボクシング部
全日本女子ボクシング選手権大会
ジュニアの部
フェザー級
出場 荒井菜々美(天童三中)
フライ級
出場 尾関奈津美(山形一中)
ピン級
出場 菅野 恵(赤湯中)
全国高等学校ボクシング選抜大会
女子フライ級
出場 尾関奈津美(山形一中)
男子フライ級
出場 菅野 恵(赤湯中)
ピン級
出場 菅野 恵(赤湯中)
東北高等学校新人大会
男子の部
1部ピン級
2位 箭柏 鳳成(蔵王二中)
1部ライトウェルター級
2位 稲葉 翔(山形六中)
1部フライ級
3位 古沢 貴大(楯岡中)
1部ウェルター級
3位 山口 純平(山形六中)
女子の部
個人戦
優勝 寒河江ひより(米沢七中)
男子ハンドボール部
2位
女子ハンドボール部
優勝
柔道
男子個人六六kg級
優勝 中川 勇斗(山辺中)
女子個人五二kg級
3位 高橋 花梨(山形七中)

- 1部学校対抗 優勝
ピン級
優勝 箭柏 鳳成(蔵王一中)
ライトフライ級
優勝 氏家 一真(陵南中)
フライ級
優勝 古沢 貴大(楯岡中)
バンナム級
優勝 垂石 優也(山辺中)
ライトウェルター級
優勝 稲葉 翔(山形六中)
ウェルター級
優勝 山口 純平(山形六中)
女子の部
ピン級
優勝 菅野 恵(赤湯中)
フライ級
優勝 尾関奈津美(山形一中)
ライト級
優勝 長澤 桃(白鷹中)
サッカークラブ部
男子バレーボール部
3位
男子バスケットボール部
3位
ラグビー部
2位
男子テニス部
団体優勝
女子テニス部
団体優勝
個人戦
優勝 寒河江ひより(米沢七中)
男子ハンドボール部
2位
女子ハンドボール部
優勝
柔道
男子個人六六kg級
優勝 中川 勇斗(山辺中)
女子個人五二kg級
3位 高橋 花梨(山形七中)

- 山形県高等学校新人大会
水泳部
個人種目6種目優勝
学校対抗 女子優勝
ボクシング部
男子の部
1部学校対抗 優勝
ピン級
優勝 箭柏 鳳成(蔵王一中)
ライトフライ級
優勝 氏家 一真(陵南中)
フライ級
優勝 古沢 貴大(楯岡中)
バンナム級
優勝 垂石 優也(山辺中)
ライトウェルター級
優勝 稲葉 翔(山形六中)
ウェルター級
優勝 山口 純平(山形六中)
女子の部
ピン級
優勝 菅野 恵(赤湯中)
フライ級
優勝 尾関奈津美(山形一中)
ライト級
優勝 長澤 桃(白鷹中)
サッカークラブ部
男子バレーボール部
3位
男子バスケットボール部
3位
ラグビー部
2位
男子テニス部
団体優勝
女子テニス部
団体優勝
個人戦
優勝 寒河江ひより(米沢七中)
男子ハンドボール部
2位
女子ハンドボール部
優勝
柔道
男子個人六六kg級
優勝 中川 勇斗(山辺中)
女子個人五二kg級
3位 高橋 花梨(山形七中)

- 山形県大会
野球部
秋季東北地区高等学校野球山形県大会
3位
秋季山形県高等学校野球一年生大会
優勝
サッカークラブ部
全国高校サッカー選手権大会山形県大会
2位
男子バスケットボール部
全国高等学校バスケットボール選手権大会
山形県予選会
優勝
女子ハンドボール部
全国高等学校選抜大会
山形県予選会
優勝
文化部
写真部
山形県高等学校総合文化祭
優秀賞
田中 日菜(山形一中)
山川 凛花(上山南中)
生物部
山形県高校総合文化祭
科学専門部長賞
日本大学生物資源科学部長杯
2位
演劇部
山形県高等学校演劇合同発表会
山形県高等学校ダンスドリル選手権大会秋季大会
東北大会
ソングリーダー部門
2位
KICK部門
優勝
全国高等学校ダンスドリル選手権大会冬季大会
ソングリーダー部門
出場
KICK部門
優勝
放送部
山形県高校放送コンテスト新人大会
ビデオメッセージ部門
準優勝
テレビキャンペーン部門
優勝
ラジオキャンペーン部門
優勝
東北高校放送コンテスト
朗読部門
出場
テレビキャンペーン部門
出場
ラジオキャンペーン部門
出場

古豪復活 ウインターカップで ベスト16

平成二十九年十二月二十三日〜二十九日にかけて、男子バスケットボール部が一年ぶりに高校バスケットボール三大大会の一つ、ウインターカップに出場した。会場となった東京体育館には一回戦の応援の為、本校応援団、ダンスドリル部、女子バスケットボール部が駆けつけ大声援を送り、接戦の末勝利を収めた。この勢いをそのままに二回戦も一点差で突破、三回戦で惜敗したものの、ベスト16という結果に古豪復活の印象を全国に与えた。

ウインターカップを 振り返って

男子バスケットボール部
顧問 青木 大和

一回戦、対戦相手は兵庫代表育英高校。遠征試合でも顔を合わせ、お互いにチームのストロング、ウィークポイントを知らずくした相手だ。1Q序盤、選手に硬さが見られ、九一〇とリードされ苦しい立ち上がりであったが、チームの強みである、誰でもドライブできる長所を生かし、1Qを二点差で凌いだ。この二点差で大きく成長した姿である。大量リードを奪われると悪い流れが切れなかったチームが、気持ちを切らさず戦い抜くことができ、力を付けた証拠であった。1Qを二点差で凌いだチームは、2Q、3Q、4Qと自分たちのペースを取り戻し、要所を抑えた素晴らしいゲーム展開

バスケットボールを信じ、どんな劣勢でも相手に立ち向かおうとする姿勢は称賛に値する。

三回戦敗退、ベスト16という成績で今大会を終えたが、生徒が主体的に活躍することを念頭にこれまで強化を続け、多方面から様々な支援を頂いた。今回の成績が残せたのは、生徒の勝ちに対する執念とサポートしてくださった皆様方のおかげである。来以降がチームの真価が問われる。今回の成績を上回ることは容易なことではないが、抜くための術は学んだ。必ずこの舞台に戻り、生徒と共に最高の舞台でバスケットができる喜びをもう一度味わいたい。

一回戦を突破する。二回戦は長崎県代表長崎西高校。試合を通して、相手チームのエースプレイヤーに得点を奪われ、オフエンスリバウンドが取れない苦しい展開であったが、要所の三ポイントが冴え、一点差の僅差で二回戦を突破する。三回戦、愛知県代表中部大第一高校。インターハイベスト8、二mを超える外国人留学生二名、年齢別の代表選手も数多く所属し、今大会の優勝候補にも挙げられるチームである。序盤こそ、チームの持ち味である、スピード生かしたオフエンス、アウトサイドシュートが決まったが、2Q、3Qは相手の高さ、フィジカルの強さに圧倒され、大差をつけられた。しかし、4Q、最大三十二点差あった点差を一時十三点差まで追い上げたのだ。生徒の執念、自分たちの



対育英(兵庫)戦 山本翔太君のリバウンド

第九〇回記念選抜高等学校野球大会

この春、昨夏に続き二季連続で甲子園大会に出場を果たした山形県より一般枠での出場は十三年ぶり、本校としては実に三十六年ぶり四度目の春の選抜出場となり、山形県知事をはじめ、多方面からお褒めの言葉をいただく快挙であった。

三十六年ぶりの春への挑戦

野球部

顧問 園田 剛樹

秋季東北大会を勝ち抜く

近年、東北地区の高校野球のレベルは全国レベルに達し、夏の真紅の優勝旗の地にもたらされることも間近ではないかと思われるようになった。青森、秋田、岩手、宮城、福島、代表校の集まる東北大会において勝ち上がり、一般枠で選考されることは、全国大会で勝ち上がるのと同様に厳しい戦いが強いられるというところである。

山形県第三代表で挑んだ東北大会において、学法石川、仙台育英、酒田南に勝利を収め、準決勝は四一六で惜敗してしまつたが、ベスト4に名乗りを上げた。

「選考されるのは自分たちだ」と吉報が来ることを信じ、「全国で戦えるチーム」を掲げ、厳しい冬の練習に励み力を蓄えていた。

一月二十六日、選考日、校長室の電話が鳴り、選手たちは喜びを爆発させ、選抜出場を喜んだ。校内放送で出場が生徒たちにも伝えられ学校全体に笑顔があふれた。選手たちは東北代表、山形代表として、恥じない戦いを決意し、翌日より全国大会に向けた練習を再開した。

甲子園での激闘
昨年夏、明德義塾高校に延長戦で敗れた悔しさは、選手全員が持っていた。何としても甲子園での一勝を達成し、過去の記録へ挑戦したいと考えていた。抽選会で、相手が智辯学園(奈良)と決まり、初戦突破を目指して決意を新たに試合に挑んだ。

試合序盤から互角の戦いであつた。一〇、一一、二一、二二、二四、二五で五回を終了した。しかし中盤から終盤にかけて逆転を許し二一四、八回に一点を返し三二四。なおも同点、逆転の好機をつくつたが、一歩及ばず三二五で敗れてしまった。まさに惜敗であつた。敗戦直後は、これまで応援してくださった皆様に勝利を届けられず、申し訳ないという思いで一杯だった。しかし、選手たちの目に涙はなく、新たな決意と自信が漲っていた。

最後にありますが、選抜出場に際してご支援、ご声援いただきました皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

日大山形野球部一同

授与式

授与式

授与式

授与式



選抜旗 授与式

平成29年度 合格状況

※()は過年度生で内数

◎日本大学 243(2)名

法学部 …25	文理学部 …22	経済学部 …15	商学部 …15	芸術学部 …3
国際関係学部 …11	危機管理学部 …3	スポーツ科学部 …1	理工学部 …42	生産工学部 …40
工学部 …41	歯学部 …3(1)	生物資源科学部(獣医学科1名含む) …10		
薬学部 …4(1)	短期大学部 …4	看護専門学校 …4		

◎国公立大学・短期大学 36(5)名

東北大学 …5(2)	宮城教育大学 …1	秋田大学 …2	山形大学(医学科1名含む) …11(2)
福島大学 …3	埼玉大学 …3	東京学芸大学 …1	新潟大学 …3
琉球大学 …1	青森公立大学 …1(1)	秋田県立大学 …1	広島大学 …1
横浜市立大学 …1	山形県立米沢女子短期大学 …1		山形県立米沢栄養大学 …1

◎日本大学以外の私立大学・短期大学 207(34)名

東北学院大学 …11	東北福祉大学 …7	東北医科薬科大学 …2	埼玉医科大学(医学科) …1(1)
青山学院大学 …6(1)	杏林大学(医学科) …1(1)	慶應義塾大学 …1	東京医科大学 …2
駒澤大学 …7(5)	上智大学 …2(1)	中央大学 …5(1)	東京歯科大学 …1
東京薬科大学 …1	東京理科大学 …5	日本体育大学 …1	法政大学 …9(4)
明治大学 …7	立教大学 …4	早稲田大学 …2	同志社大学 …1
東北文教大学短期大学部 …3	など		

◇専門学校 53名

山形市立病院済生館高等看護学院/
山形医療技術専門学校などを含め看護医療系18名合格

◇就職 33名

公務員19名
山形県警察/神奈川県警察/自衛官曹候補生/自衛官候補生
一般企業 14名
日新製薬(株)/東北電化工業(株)/日本地下水開発(株)/日東ベスト(株)/東日本旅客鉄道(株)仙台支社/トヨタ自動車(株)

◇その他 1名

劇団ひまわり

学年主任あいさつ

夢実現の第一歩

第一学年
主任

中村 寿一



入学おめでとうございます。高校の三年間は、夢を育てる大切な時期です。「夢実現」にむけて、今何ができるか、何をすべきかを考えて下さい。皆さんが持つている計り知れない力と可能性を信じて取り組むことが結果を生みます。失敗は誰にでもあり、失敗が許されるのも高校生です。繰り返さないことが大切です、失敗を恐れず、まずは行動しましょう。一歩踏み出すことが大事です。思うだけでは実現できません。五十cmでも一cmでもその歩みの積み重ねが大きな「夢」の実現につながります。可能性に満ち溢れたこの学園で高校生活を楽しまししょう。皆さんの「夢実現」のために一丸となり全力でサポートしていきます。

Be ambitious!

第二学年
主任

澁井 徹



私が日大山形に奉職して三十年が経ちました。東京に生まれ育ち、高校は同じく付属の習志野高校。二年間の櫻丘高校での非常勤講師を経て、山形へやって来ました。私は今でもよく、「なんで山形に来たの。」と聞かれます。「山形高校が一番の希望校でした。」と答えます。これは本心です。本校は昔から今も、多彩な才能と個性を育てる学校で、その成果も誇るべきものです。また、在校生、同窓生、教職員、それに保護者の方々も巻き込み、これだけの「校歌愛」を持つている学校は見当たりません。本校の魅力が「Be ambitious」に現れているからでしょう。私はこの素晴らしい学校で学ぶ二年生の皆さんに、思う存分、学習に部活動に励んで欲しいと願っています。また、その指導に頑張っていきたいと思っています。

「自己実現へ300日」

第三学年
主任

遠藤 淳一



最終学年を迎えまして、一年後には、各自が自分の目指す進路に到達していることを願わずにはいられません。多種多様な分野の大学や専門学校への進学と就職、或いは地元に残る者、地元を離れる者等、各人が目指す進路は多岐に渡ります。中学校から高校へという単線のエスカレーター式進路とは異なり、また社会人へ直結した進路選択になるため、その選択の与える影響はより大きなものになります。だからこそ、この一年の持つ意味は重要です。「何とかするだろう」ではなく「何とかするぞ」という能動的な意識と行動力を持って、学業、部活動等、様々な場面を持って力を出し惜しみせず発揮しなければなりません。そして、高校生活に納得のいく締め括りになる三〇〇日を過ごせるよう期待し、私たちが教員も諸君を応援します。



第18回 ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジ 付属高校生の イースター・プログラム

三月十八日～四月五日までの十八日間、英国・ケンブリッジ大学ペンブルックカレッジにて語学研修が行われた。日本大学では年二回、付属高校生を対象に実施しており、本校からは三名の生徒が参加した。授業の他にもロンドン市街散策や他の付属高校生との交流もあり、生徒たちは充実した日々を過ごしたようだった。

刺激を受けた十八日間



阿部 純佳
(東根一中)
私はこの春休みに、

ケンブリッジ大学のイースタープログラムに参加しました。授業では、イギリスとケンブリッジ大学の歴史やかかわりの深い話などを学びました。授業はもちろんすべて英語で行われ、英語力を磨くのに非常に良かったと思います。一方的に先生が教えるのではなく、街歩きやゲームを通して、

生徒が積極的に発信していくという、とても充実した内容でした。

このプログラムの参加者には、帰国子女や留学経験がある人が多く、あまり英語で話したことのない私は初日から一歩出遅れた感じがしました。しかし、現地の人と積極的に話していくうちに、自分が少しずつ成長していくのを感じました。この素晴らしい経験を活かして、私の夢である海外で仕事をするといい事にますます憧れを持つようになりました。またいつか留学ができるように頑張ります。

イースタープログラムを終えて



森谷茂仁加
(天童三中)
私はこの春イースター

プログラムに参加し、ケンブリッジ大学に行ってきた。私は英語で話すことが好きだったので、この研修への参加が決まったときから興奮を抑えきれませんでした。

ケンブリッジでの授業は全て英語で行われ、二三人での発表や寸劇、パネルディスカッションなどをアクティブラーニングを行いました。現

地人の英語の発音は、一人一人に個性があり耳慣れないと聞き取りにくく、自分の方は発音の悪さや語彙の少なさから苦戦を強いられました。しかし、日を追うごとに聞き取ることでできる単語が増えたり、新しい言い回しを覚えたりして、なんとかがイギリスでの生活に順応することができました。

今回の研修の経験で、理想の自分へ一歩近づいた気がします。今後も自分の英語力を磨いていきたいと思えました。

大切な経験



和田 功
(山形一中)
この春休みにケンブリッジ大学のイースター

プログラムに参加してきました。授業はオールイギリスの文化やケンブリッジ大学の歴史、ノーベル賞受賞者などのイギリスを代表する著名人について学び、毎日新しい



左から和田君、森谷君、阿部さん

発見がある十八日間でした。

はじめは現地の先生やPA(プログラムアシスタント)の英語が聞き取れず何度も聞き返したりして、とても苦戦しました。しかし、あきらめずに何度も何度も話をする中で徐々に会話ができるようになっていきました。また他校の付属高校生と共に生活していく中でみんなのレベルの高さを知り、とてもいい刺激になりました。

今回の研修では今まで経験したことのないようなことをたくさん経験することができました。この経験をこれからの学習に活かし英語の力を伸ばしていきたいです。最後に今回のプログラムに携わってくださった皆さん、本当にありがとうございました。

日本大学付属高等学校等 第三十五回 文芸コンクール入賞者

■俳句

佳作
安達 佳歩(山大附中)

■短歌

入選
村越 水(宮川中)
佳作
神保 一馬(山大附中)

新任教職員紹介

羽田 夏美(家庭科)



日大三島高校より参りました。

加藤 圭将(国語科)



母校で勤務できるところを嬉しく思います。

岡崎 圭祐(地歴公民科)



現在を知り、未来を考えると

田中 菜月(英語科)



今年三月に大学を卒業し、

この度母校で勤務できることを大変嬉しく思っております。宜しくお願いたします。



岩田奈穂子(保健室) 生徒一人一人の身体心の悩みに傾聴していきたいと思っております。よろしくお願致します。

保坂 脩斗(事務室)



福島県の工学部から異動して参りました。奨学金や証明書発行を担当いたします。よろしくお願いたします。

二藤部素致(用務員)



日大山形の皆さんが過ごしやすい環境づくりを第一に考えていきます。宜しくお願致します。

学校説明会

全体説明と個別相談・校舎見学・部活動見学

期日	会場及び時間
第1回 平成30年10月7日(日)	受付 9:20~ 9:55
第2回 10月21日(日)	説明会 10:00~11:20 (第1体育館)
第3回 11月11日(日)	以下は希望になります。
第4回 11月23日(金・祝日)	個別相談 11:20~
第5回 12月16日(日)	校舎見学 11:20~12:00(予定) 部活動見学 11:20~12:10(予定)

※上記以外の期日に学校参観をご希望の方は、お電話の上、ご来校ください。
※部活動見学については、学校説明会前にお問い合わせください。
(023-641-6631 担当/橋本・田中)

※学校説明会では、学校生活全般、並びに入試に関する詳しい説明を致します。
※事前のお申し込みは必要ありません。上履きをご持参ください。

山新グループ



寄贈 日大山高山新桜友会

日大山高山新桜友会より

今年も

図書

の寄贈

山新グループの本校卒業生による「日大山高山新桜友会」(佐藤宏樹会長)より、今年も図書館に本を寄贈していた。平成4年から始まり今回で26回目となり、図書も342冊を数える。

図書館には専用の書架を設け、生徒たちも先輩方の善意に感謝しながら大いに利用している。若者の読書離れが言われて久しいが、これからも多くの生徒たちが先輩方から贈られた本に触れて巣立っていく。大切に利用させていただくと共に、改めて感謝申し上げる。

フオト・ア・ラ・カイト



卒業式



センバツ高校野球決定



関西修学旅行



入学式



ウィンターカップ出場権獲得



山形新聞読み方講座



新入生オリエンテーションハイキング

日本大学山形高等学校広報部
〒990-2433 山形市鳥居ヶ丘四一五五
電話 〇二三一六四一―一六六三二(代)
FAX 〇二三一六四一―一六六三四
URL <http://www.ymgf.hs.nihon-u.ac.jp>
写真提供 (株)大風印刷
有力カメラの石山

編集後記

私には好きな言葉がある。「千日の稽古を鍛とし、万日の稽古を錬とす。」宮本武蔵が五輪書の中で記した言葉で、継続することの大切さを説いた言葉だ。何か一心に取り組み、それを継続させることがどれ程難しく辛いことか。自分で自分を制する精神力、不安や戸惑いに打ち勝つ自信やプライド、向上することへの食欲さなど様々な要素が必要である。誰が何と言おうと自分で進むと決めた道を自分の足で進む。そんな強い人間でありたいと思うと同時に本校生徒一人ひとりがそうであってほしいと願う。春は始まりの季節。何かを決意するには最適な時季だ。